

## 令和6年度評価に対する計画評価専門部会における主な意見

【日 時】 令和6年7月30日(火)

【場 所】 We b 会議

【出席委員】 会田委員、増淵委員、今井委員、依光委員、杉倉委員、後藤委員、  
永嶋委員

## &lt;&lt;各指標についての主な意見&gt;&gt;

※ 複数の委員から同様の意見があったものについては、まとめて記載しています。

## 【指標No. 7】 子どもを産み育てやすいと感じる家族の割合

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
79.9%	73.4%	△ (0.0%)	80.0%以上

## 【指標No. 8】 保育所等待機児童数

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
833人 (R2.4.1)	83人	◎ (90.0%)	0人

【関連事業】 事業No. 42 保育所等施設整備の助成

【関連事業】 事業No. 43 認定こども園施設整備の助成

【関連事業】 事業No. 44 放課後児童クラブへの助成

【関連事業】 事業No. 45 病児保育事業への助成

## 意見

&lt;NO. 7&gt;

- 「子どもを産み育てやすさ」を図るのであれば、育児がより大変な時期に入った後の保護者にアンケートを取るべきではないか。
- 今回、評価の基準とした子育てアンケートの対象は「保護者」となっており性別は特定されていないが、女性からも男性からも意見を聴けるような工夫が必要ではないか。
- 計画の指標とするには、「子どもを生み育てやすい」と判断する基準が曖昧であり、見直しが必要。

<NO. 8>

- 待機児童数には市町村による偏りがみられるため、発生要因を的確に把握し、必要な支援を行っていただきたい。
- 待機児童が減っていることは、子育て支援策が進んだとして、評価できる。
- 今後は保育の質の向上にさらに取り組んでいただきたい。
- 各種助成があり、施策が推進されている様子がかえり、その助成により具体的にどのような声が利用者から寄せられているかがわかると良い。

**【指標No. 10 介護人材確保対策事業費補助対象事業数**

**【関連事業】 事業No. 61 福祉・介護人材の確保と定着促進**

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
172	211	◎ (進展)	増加を目指します

**意見**

- 介護は妻、嫁、娘の役割とされることが多く、介護人材を確保することは男女共同参画の観点から必要である一方、介護従事者の賃金は低く抑えられ、主として女性の職業となり、男女の収入格差を助長する原因ともなっている現実もあることから、多面的な視点での施策の検討が必要。
- 介護職員の処遇改善を含め、引き続き介護人材の確保・定着に取り組んでいただきたい。
- 目標値は数値目標とした方が良い。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 18】 ちばバリアフリーマップ掲載施設数

【関連事業】 事業No. 158 ちばバリアフリーマップによる県内施設のバリアフリー情報の紹介

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
1,935施設	2,097施設	○ (54.9%)	2,230施設 (目標数値：年間50施設の増)

意見

- 掲載施設を増やすだけではなく、バリアフリーマップの広報啓発の方法を充実させる必要があるのではないかな。
- 閲覧傾向を併せて確認し、活用実態を把握する必要あるのではないかな。
- 情報の掲載・更新・削除にあたっては、定期的に市町村に照会をすることで最新の情報を提供できるのではないかな。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 19】 主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合

【関連事業】 事業No. 159 鉄道駅バリアフリー設備の整備支援

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
95.9%	99.1%	○ (78.0%)	100%

意見

- バリアフリーは、子育て世代にとっても重要であるため、駅のエレベーター設置に積極的に財政支援を行うべき。
- 必要な駅に設置できるよう、計画的に整備を進めていただきたい。
- 主要駅以外の駅にも広がるとよい。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 24】 がん検診の受診率

【関連事業】 事業No. 175 総合的ながん対策の推進

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
胃がん 女性46.3% 男性54.1% 肺がん 女性48.7% 男性53.9% 大腸がん 女性42.7% 男性47.6% 乳がん 女性51.9% 子宮頸がん 女性41.8% (R元年)	胃がん 女性48.2% 男性51.6% 肺がん 女性50.1% 男性54.6% 大腸がん 女性44.2% 男性48.5% 乳がん 女性55.0% 子宮頸がん 女性47.5% (R4年)	◎ (進展)	増加を目指します

意見

- 受診率の男女差について分析したうえで、男女差が生じないような施策を検討し、受診率の増加に努めていただきたい。
- 受診率が高い他県の取組事例などを参考にしたらよいのではないかな。
- 目標値は数値目標とした方がよい。
- 指標の目的や男女共同参画との関係が曖昧であり、指標の見直しが必要。

【指標No. 25】 災害対策コーディネーター登録者数

【関連事業】 事業No. 211 災害対策コーディネーターの活動支援

計画策定時値 (令和元年度)	実績値 (令和5年度末)	令和7年度末 目標値に対する到達度	目標値 (令和7年度)
1,445人	1,850人	◎ (進展)	増加を目指します

意見

- 登録数の男女差について分析し、男女差を解消する施策を検討していただきたい。
- 女性を一定の割合で選任することを義務付けるなどの施策もあるとのことだが、災害時、特に避難所における女性の権利侵害は大変大きな問題であることから、そのような義務付けを積極的に行うなどして、女性がリーダーとして災害時に活動できるような施策を講じていただきたい。
- 具体的に、地域の中で女性の災害コーディネーターがどのような活動をしているのか、周知することで、女性の活躍を促す一助になるのではないかな。
- 育成だけでなく、いざという時のためにも、その後の継続した活動支援が必要。
- 目標値は数値目標とした方がよい。

### <<全体についての主な意見>>

- 男女共同参画の推進度を図る指標であるという観点が薄く、計画の指標としては見直しが必要と思われるものが散見されるため、次期計画においては十分に精査していただきたい。
- 各指標に係るデータについては、男女別で比較できるものは可能な範囲で提示していただきたい。
- 男女間で優位性が認められるデータに関しては、その要因をさらに分析して今後の取組に活かしていただきたい。